

総務産業 常任委員会

10月9日・10日 町内所管 事務調査 結果報告

下川中学校の運営状況等

中学生になってから円滑に授業に対応できるように中学校教諭を小学校へ派遣して授業を行い、小中連携を図っている。

2030年の姿に「機械化される時代」が想像されるため、現在の炭焼き学習から転換したいと考えている。

所見

総合学習のテーマ転換は、教育委員会とよく相談していただきたい。いじめの早期発見と早期対応を心がけてもらいたい。

五味温泉の運営管理状況

エコハウスの宿泊料について、9月定例会で条例改正した宿泊料の改定について、令和2年4月1日から

の予定であるが、十分に周知できる期間を設けたい。施設の改修計画、3年ほど前に改修設計を実施した浴室の天井の確認を優先して計画的に進めたい。

所見

浴室の天井について、早急に点検が必要である。施設の在り方については、五味温泉と結いの森の指定管理者が一緒である相乗メリットを活かせる方策を考えるべきだ。

下川浄水場の更新計画、矢文飲雑用水改修状況

更新計画では、下川浄水場の新設、導水管の敷設替えを行うもの。配水池は現在の設備を使用する。処理方法は「膜ろ過方式」とする。

所見

取水の水質の安全性に配慮した対策が必要である。

産地パワーアップ事業

きわみファームでは、「北の極み」ブランドにて東京などの卸元と卸契約が成立している。ポットに土詰する機械も導入し省力化を図っている。

J A北はるかでは、班溪地区に育苗ハウス、フルーツトマト選果場横に保冷库を建設しており、2月末完成予定となっている。

所見

大変意欲的な取り組みである。事業主体自ら販路開拓を行い、栽培方法の検討など積極的に取り組んでいることがよく理解できる。町ではこのような取り組みに対し、重点的に支援を進めるべきである。

町内公園等の視察

公園の設置及び管理に関する条例（以下「公園条例」という）の別表に定める公園について、公園機能を有しているのか、他の用途（雪置き場など）に利用されて

いるのかなどの現況を確認した。錦町トイレについて、廃止の方針が示されているため、現況を確認した。

所見

中央遊園地（錦町）、中成遊園地については、公園機能が認められず、冬季の雪置き場として利用されて

いる現状から、用途の適正化を図るべきである。錦町トイレについては、冬季において24時間利用できるトイレである。利用者の利便性などを考慮した運用方針の検討が必要である。

※調査の一部を抜粋し掲載しています。



1. 五味温泉喫煙室の設置予定場所（現カラオケルーム）
2. 下川浄水場ろ過池 3. きわみファーム 4. 錦町トイレ